第１回室戸市統合中学校あり方検討委員会議事録（概要）

日　　時　　令和６年５月３０日（木）１９：００～２０：１０

場　　所　　室戸市役所２階第１会議室

出席委員　　小松伸稔委員長、手島泰副委員長、小松武志委員、萩野慎人委員、
谷渕隆二委員、松尾拓哉委員、中屋康一郎委員、松吉由季委員、
北川弘美委員、貝川和嗣委員、黒岩文弥委員、中原洋人委員、
上田摩美委員、中村幸奨委員、杉本優委員、作田将基委員、
勝田真也委員、西本啓純委員、井口司委員、京田ひとみ委員、
町田幸寛委員、石建結香委員、森岡美和委員　　計　２３名

欠席委員　　岡田茂委員　　計　１名

事 務 局　　植田市長（あいさつ）、百田教育長、山本教育次長兼学校教育課長、
祝学校教育課長補佐、髙﨑学校教育課班長　　計５名

議　　題　　⑴　保育所及び学校適正規模・適正配置検討の経過について
⑵　統合中学校あり方検討委員会について
⑶　統合中学校のめざす生徒像及び学校像に関することについて
⑷　第２回検討委員会（施設整備に関することについて）の資料について

議事録（概要）

１．開会
２．市長あいさつ
３．委員自己紹介
４．委員長及び副委員長選出
　委員長は小松伸稔委員、副委員長は手島泰委員に決定
５．議題

⑴　保育所及び学校適正規模・適正配置検討の経過について

事務局説明 （学校教育課長）	**資料３ページ** **【経過】** 中学校の統廃合は、最後まで賛否が分かれている中で決定した経緯があり、保護者、地域、学校関係者などの様々な思いがあると思うが、室戸市の中学生が通って本当に良かったと思える中学校をつくらなければと考えている。

	資料４ページ～５ページ **【室戸市保育所及び小中学校適正規模・適正配置実施計画】の目的** **【保育所及び小中学校適正規模・適正配置の方向性】** **【統合時点の中学校の状況】** **【中学校統合に向けたスケジュール】** 令和 10 年度の学年別生徒数の見込みは、室戸中学校以外は各学年 10 人未満で、進学状況等によって複式学級の編成が必要となる可能性があり、今回の統廃合の一つの要因となっている。 施設整備は、現在、地権者との協議をしており、今後、用地取得、地質調査、造成設計などを踏まえ、令和 7 年度実施設計終了後、本体工事に着手し、令和 9 年度中の完成、令和 10 年度の開校をめざしている。
質疑応答　なし	

⑵　統合中学校あり方検討委員会について

事務局説明 （学校教育課長）	**資料２ページ** **【室戸市統合中学校あり方検討委員会設置条例】** 第２条所掌事務の説明、その他組織、任期、会議や守秘義務等説明。 **資料６ページ** **【あり方検討委員会の概要及び役割】** **【スケジュールについて】** あり方検討委員会の役割は、令和６年度末をめどに統合中学校開校に伴う様々な課題について調査検討を行い、課題への対応策の大きな方向性を定め、結果を市長に報告するもの。 その後、令和７年度から９年度にかけて新たに開校準備委員会を設置し、あり方検討委員会の報告を基に具体的な対策を検討する。 例えば、スクールバスの運行ルート、運行時間、便数や各地区の乗降場所、通学時の防災対策などの方向性をこの検討委員会で決め、その方向性に基づき、その後の開校準備委員会で具体的な運行ルートや時間、災害訓練の内容などを決めていく。 他には、制服の決定方法や導入時期などの方向性をこの会で出し、開校準備委員会では具体的にデザインの決定や導入時期を検討するイメージ。 検討委員会は、12 月を除き計 10 回を予定。昨年度の地域説明会等で出された課題等もテーマとして協議をしていく。

	8月は、多様な課題を抱える児童生徒への支援がテーマとして、いじめの未然防止や新たな不登校を生じない学校づくりの取り組み等、県教育委員会人権教育児童生徒課から話をしてもらう予定。 10 月は、防災対策、通学時にかかる課題として、山田特別支援学校田野分校の通学時の防災訓練の取り組みを伺えないか調整中。 会としては、外部の方にも入っていただく機会も考えている。 新たな課題にも臨機応変に対応していく。統廃合に反対の立場からの意見への対応策を考えることは、統合中学校が室戸市の中学生にとって良い学校になると考えているので、様々な観点から意見をいただきたい。
質疑応答	
委員	設置条例第8条の守秘義務について、持ち帰って保護者間で相談して意見を聞こうと思っていたが、これは守秘義務になるのか。
事務局	個人にかかる情報が出た場合は守秘義務にあたる。 会でどういう話し合いがされたかや学校の方向性とかを地域の方に意見を聞くことはかまわない。

⑶ 統合中学校のめざす生徒像及び学校像に関することについて

事務局説明 （学校教育課長）	**資料7ページ～9ページ** **【めざす生徒像及び学校像に関することについて】** 最終的に統合時の校長先生及び各先生が決定をするものであるが、資料にない視点でご意見があれば、報告書に記載をするので、次回お伺いしたい。
委員長	資料 8.9 ページ、各地域にある中学校のそれぞれの土地の文化とか風土とかそういうものの中で育まれた教育目標であり、学校像であるので、統合中学校は室戸市全体になるので、広い視野での像が必要。具体的な意見は次回伺う。
質疑応答　なし	

⑷ 第2回検討委員会（施設整備に関することについて）の資料について

事務局説明 （学校教育班長）	**資料　第2回資料1（候補地イメージ図）** 資料の既存道路は、道路の幅員や橋の老朽化により、用地測量や作業道開設時の車両の通行にのみ使う予定で、通学路としては考えていない。

	実際の進入道路は、消防本部横からの整備を考えているが、途中の谷に橋を架ける必要があり、工事期間が２年はかかるため、工事期間中、広域公園入口に作業道路をつけて、造成や進入路等の工事に使用予定。 グラウンドは 7,000 ㎡、囲むように校舎、体育館、プールを配置予定。詳細は決定していないが、現時点でのイメージ。 **資料　第２回資料２（統合中学校校舎教室数等比較）** 統合中学校と現室戸中学校の教室等施設の比較資料。現在の室戸中学校にある教室は統合中学校にもあると考えてよい。 トイレが男女 1 つずつ減っているが、既存の中学校は 3 階建てで、新しい学校は２階建てを予定しているためである。 新たに少人数教室や事務支援室、車いすでの通学も考えて、エレベーターの設置を考えている。 体育館は、現室戸中学校より広くなることと、更衣室も２つに分け、トイレも設置する予定。 プールも同様に少し広くなり、更衣室やトイレの設置も考えている。 グラウンドは 7,000 ㎡は確保したいと考えている。 **資料　第２回資料３（平面図案）** 普通教室や特別支援教室など生徒が普段生活するスペースは南に面して日が入るよう考えている。イメージ図を見て、第２回目で意見をもらいたい。
質疑応答	
委員	資料は持ち帰って他の人にも見てもらってよいか。
事務局	はい。有効に活用いただきたい。 施設整備の資料は、民間事業者等から提案を受けて決定するので、あくまで現時点での事務局案。当委員会からの意見を今後の施設整備に反映させるため、第 2.3 回目の早めのスケジュール設定とした。
委員	土地はスムーズに売却してもらえるのか。
事務局	現時点で、連絡がついていない県外の方がいるが、その他の地権者には、測量に入ること等について同意書をいただいている。 最終的には、鑑定額、用地測量により買収金額を提示して、交渉をしていく。

⑸　その他

委員	他の保護者にも見てもらえるので、この会の議事録や資料は出せないのか。
事務局	資料や議事録など、開示できるものは次回までにホームページに出す予定、保護者にはスグール等を通じてホームページへのリンクを周知するなど考える。 　広報誌でも定期的に市民に周知を考えている。